

新年の ご挨拶

豊かな福祉社会の実現に向けて

社会福祉法人岩手県社会福祉協議会 会長 長山 洋

新年おめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられたことと存じます。心よりお喜び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが定まらない中、多くの方々が深刻な生活危機に直面する状況が続いています。市町村協会は、新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し生活に困窮された世帯への緊急小口資金等の特例貸付などの支援にご尽力をいただいております。改めて感謝申し上げます。

特例貸付は、昨年9月末で申請受付を終了し、本年1月から順次償還が開始されたところですが、今後は、引き続き困窮する方の生活再建に向けて一人ひとりに寄り添ったフォローアップ

支援が必要とされています。

また、昨年は、大雨により、県北地域を中心に土砂崩れや河川の氾濫などの災害がもたらされ、本会においても、災害ボランティア

アセンターを設置し、社協や行政、ボランティアの協力により、被災者支援に取り組みました。今後は、災害発生時に、災害ボランティアセンターを円滑に設置・運営できるようにするため、すべての市町村において社協と自治体との間で被災者支援の役割分担を明確にした協定が締結されることを期待します。

東日本大震災津波から10年以上が経過し、被災地においては、恒久住宅への移行など生活基盤の復興が進んだ一方で、高齢化や家族関係の変化による孤独・孤立、通院や買

い物などの移動の不便さなど、新たな生活課題が顕在化しており、住民主体のコミュニティづくりを進めることがますます重要となっています。

私たち社会福祉に携わる者は、こうした情勢を踏まえ、深刻化する福祉ニーズに対応していくため、包括的かつ重層的な支援体制の構築や福祉人材の育成・確保など、さらなる取組を進めていかなければなりません。

本会では、関係機関・団体の皆様とともに手を携え、本会の基本理念である「豊かな福祉社会の実現」に向けて各種の事業に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様方の一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年度 全国社会福祉大会

全国社会福祉大会開催

12月13日、令和4年度全国社会福祉大会が浅草公会堂（東京都）で開催され、厚生労働省、全国社会福祉協議会、中央共同募金会の3団体から、多年にわたり社会福祉の発展に功労のあった方々が表彰されました。岩手県からは、153名5団体（厚生労働大臣表彰13名3団体、全国社会福祉協議会会長表彰139名1団体、中央共同募金会会長表彰1名1団体）が表彰され、全国社会福祉協議会会長表彰・社会福祉協議会優良活動表彰の受表彰者を代表して、全社協の清家篤会長から、大船渡市社会福祉協議会の田村福子会長に、表彰状が送られました。

また、式典後「鎌倉幕府を守った北条政子―中世女性活躍社会の原点―」と題し、静岡大学名誉教授の小和田哲男氏による記念講演が行われました。



清家篤全社協会長（左）と
表彰を受ける田村福子大船渡市社協会長